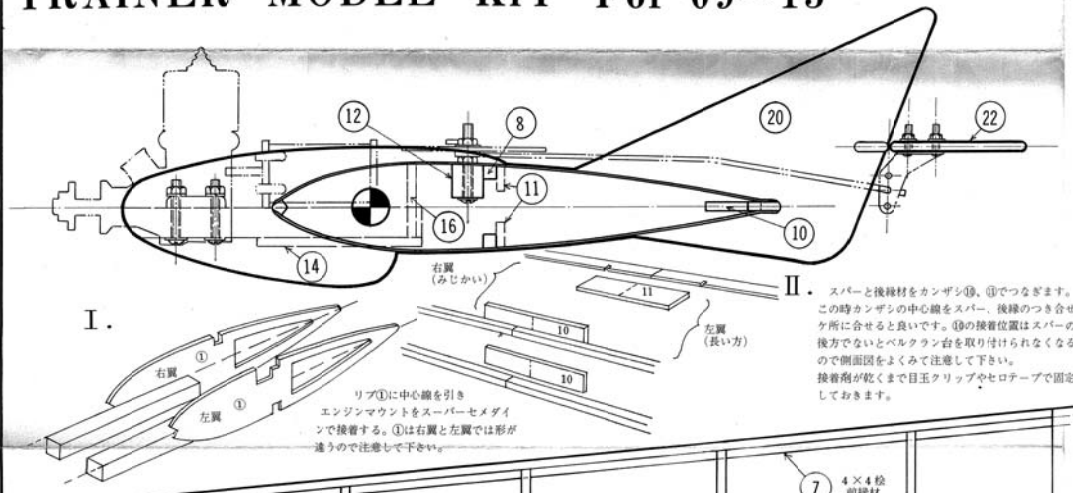
U-Control

PIRANHA

ピラニヤ

TRAINER MODEL KIT For 09～15

ピラニヤ 諸元	
全　巾 740mm	翼面積 11dm²
全　長 300mm	エンジン 09～15
全備重量 320～360g	東京理工株式会社

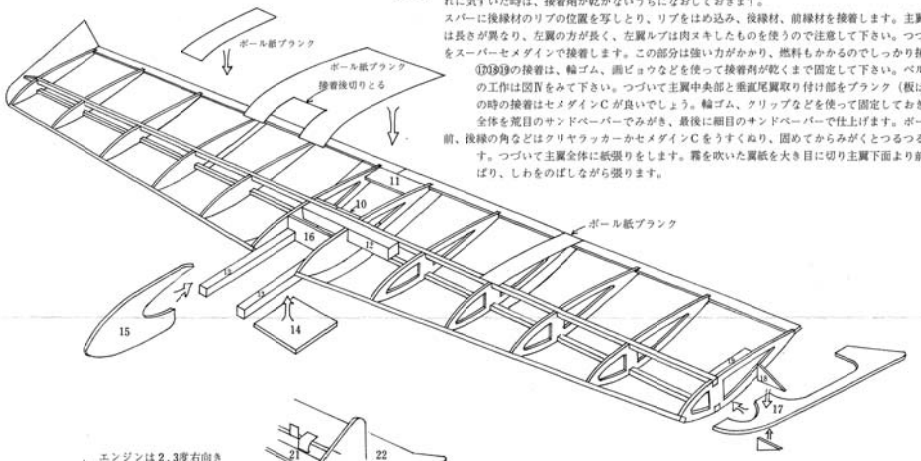


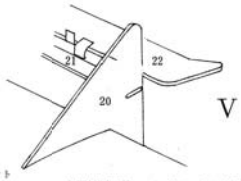
I.

リブ①に中心線を引き
エンジンマウントをスーパーセメダイ
ンで接着する。①は右翼と左翼では形が
違うので注意して下さい。

II. スパーと後縁材をカンザシ⑨、⑪でつなぎます。この時カンザシの中心線をスパー、後縁のつき合せケ所に合せると良いです。⑩の接着位置はスパーの後方でないとベルクランク台を取り付けられなくなるので側面図をよくみて注意して下さい。
接着剤が乾くまで目玉クリップやセロテープで固定しておきます。

III. 主翼がねじれるとうまく飛ばなくなりますから、主翼の工作は平らな台の上で行うと良いでしょう。また、ねじれに気ずいた時は、接着剤が乾かないうちになおしておきます。
スパーに後縁材のリブの位置を写しとり、リブをはめ込み、後縁材、前縁材を接着します。主翼は右翼と左翼では長さが異なり、左翼の方が長く、左翼ルブは肉ヌキしたものを使うので注意して下さい。つづいて⑭、⑮、⑫をスーパーセメダインで接着します。この部分は強い力がかかり、燃料もかかるのでしっかり接着して下さい。
⑰⑱⑲の接着は、輪ゴム、画ビョウなどを使って接着剤が乾くまで固定して下さい。ベルクランク用支点の工作は図Ⅳをみて下さい。つづいて主翼中央部と垂直尾翼取り付け部をブランク（板ばり）します。この時の接着はセメダインCが良いでしょう。輪ゴム、クリップなどを使って固定しておきます。乾そう後全体を荒目のサンドペーパーでみがき、最後に細目のサンドペーパーで仕上げます。ボール紙ブランクの前、後縁の角などはクリヤラッカーかセメダインCをうすくぬり、固めてからみがくとつるつるになります。つづいて主翼全体に紙張りをします。霧を吹いた翼紙を大き目に切り主翼下面より前縁と平行にひっぱり、しわをのばしながら張ります。

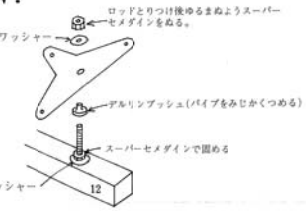


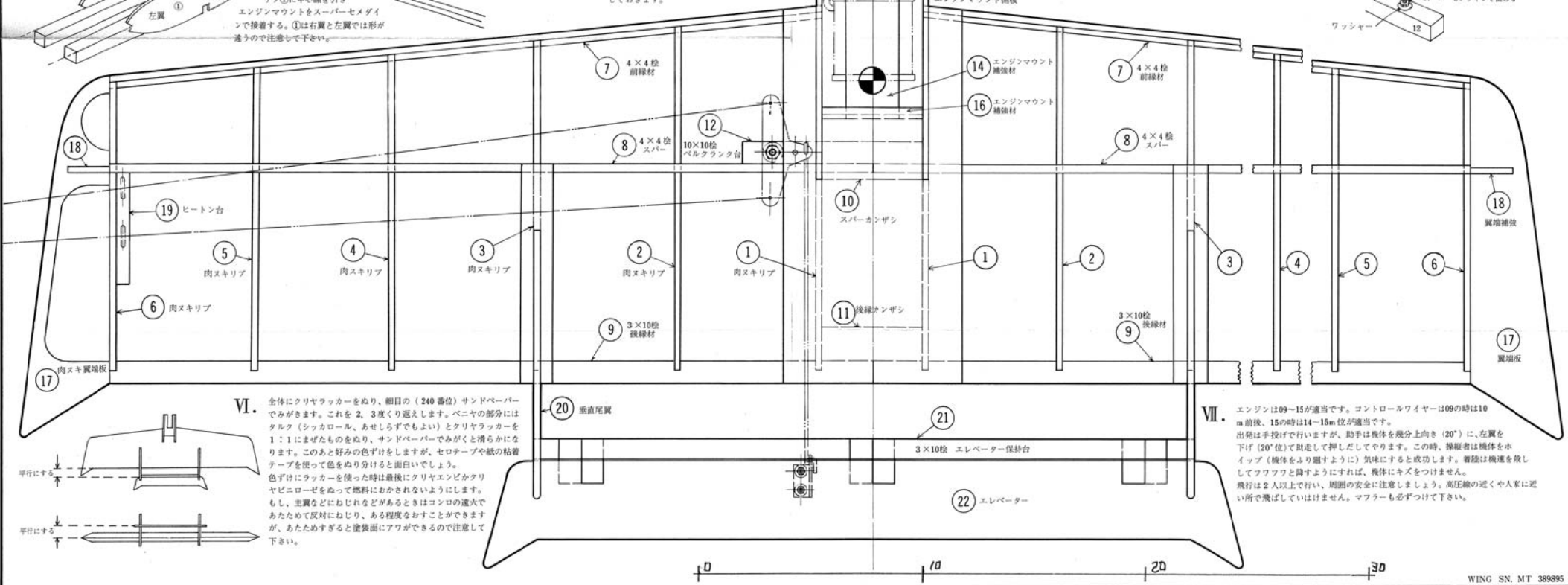


V.

主翼紙張り後、エンジンマウント側板⑮をスーパーセメダインで接着します。つづいて垂直尾翼㉑をとりつけ、㉒にはエレベーター保持台㉓をつけ、布ヒンジでエレベネターをとりつけます。以上の接着はセメダインCが良いでしょう。
（図Ⅵをみて下さい。）

IV.





VI. 全体にクリヤラッカーをぬり、細目の（240番位）サンドペーパーでみがきます。これを2，3度くり返します。ベニヤの部分にはタルク（シッカロール、あせしらずでもよい）とクリヤラッカーを1：1にまぜたものをぬり、サンドペーパーでみがくと滑らかになります。このあと好みの色ずけをしますが、セロテープや紙の粘着テープを使って色をぬり分けると面白いでしょう。
色ずけにラッカーを使った時は最後にクリヤエンピかクリヤビニローゼをぬって燃料におかされないようにします。
もし、主翼などにねじれなどがあるときはコンロの遠火であたためて反対にねじり、ある程度なおすことができますが、あたためすぎると塗装面にアワができるので注意して下さい。

VII. エンジンは09～15が適当です。コントロールワイヤーは09の時は10m前後、15の時は14～15m位が適当です。
出発は手投げで行いますが、助手は機体を機分上向き（20°）に、左翼を下げ（20°位）て助走して押しだしてやります。この時、操縦者は機体をホイップ（機体をより廻すように）気味にすると成功します。着陸は機速を殺してフワフワと降すようにすれば、機体にキズをつけません。
飛行は2人以上で行い、周囲の安全に注意しましょう。高圧線の近くや人家に近い所で飛ばしていはけません。マフラーも必ずつけて下さい。

WING SN. MT 389895